

## ＜献血の種類と項目、その他注意事項＞

### ○献血の種類、基準等

項目	全血献血		成分献血	
	200ml献血	400ml献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200ml	400ml	600ml以下（循環血液量の12%以内）	400ml以下
年齢	16歳から69歳（注）	男性17歳から69歳（注） 女性18歳から69歳（注）	18歳から69歳（注）	男性18歳から69歳（注） 女性18歳から54歳
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量	男性12.5グラム/dl以上 女性12グラム/dl以上	男性13グラム/dl以上 女性12.5グラム/dl以上	12グラム/dl以上 （赤血球指数が標準域にある女性 は11.5グラム/dl以上）	12グラム/dl以上
血小板数			15万/ $\mu$ l以上・60万/ $\mu$ l以下	
年間献血回数	男性6回以内、女性4回以内	男性3回以内、女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量	200ml献血と400ml献血を合わせて男性1200ml以内、女性800ml以内			

（注）65歳以上の献血については、献血される人の健康を考え、60歳から64歳の間に献血経験がある人に限ります。

### ○献血の間隔

今回の献血	200ml全血献血	400ml全血献血	血漿成分献血	血小板成分献血（注）
200ml全血献血	男女とも4週間後の同じ曜日から	男性は12週間後 女性は16週間後の同じ曜日から	男女とも2週間後の同じ曜日から	
400ml全血献血				
血漿成分献血				
血小板成分献血				

※血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

### ○血漿成分献血の体重別献血量の目安

体重	献血量	体重	献血量
40kg以上45kg未満	300ml（女性のみ）	60kg以上65kg未満	400mlから500ml
45kg以上50kg未満	300mlから350ml	65kg以上70kg未満	400mlから550ml
50kg以上55kg未満	400ml	70kg以上	400mlから500ml
55kg以上60kg未満	400mlから450ml		

○その他…献血の際には、上記のような基準に基づき、医師が総合的に判断して実施しています。

○お願い…献血や輸血される人の安全を考慮して献血をご遠慮いただく場合があります。

- ・服薬中、妊娠中・授乳中、発熱等の人など
- ・エイズ、肝炎などのウイルス保有者、またはそれと疑われる人
- ・輸血歴、臓器移植歴のある人
- ・ピアスの穴をあけている人、1年以内にいれずみを入れた人
- ・出血を伴う歯科治療（歯石除去を含む）をした人
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病（CDJ）の人、またはそれと疑われる人
- ・一定期間内に予防接種を受けた人（インフルエンザ、日本脳炎、コレラ、A型肝炎、肺炎球菌、百日ぜき、破傷風など）
- ・海外旅行者及び海外で生活した人（旅行された時期や地域によってもご遠慮いただく場合がありますので、ご確認ください。）
- ・特定の病気にかかったことのある人（心臓病・悪性腫瘍・けいれん性疾患・血液疾患・ぜんそく・脳卒中など）

※詳しくは、埼玉県赤十字血液センターにご確認ください。埼玉県赤十字血液センター 日高市高萩1370番地12 電話：042-985-6111

○献血後…献血後は十分休憩をお願いします。用意している飲み物などで水分の補給をして下さい。トイレに行かれる場合も、なるべく休憩後をお願いします。

### ○英国滞在に関する献血制限の緩和

これまで、昭和55年から平成8年の間に英国に1日（1泊）以上滞在していた方は献血をご遠慮いただいていたましたが、平成22年1月27日からその制限が緩和されました。昭和55年から平成8年の間の英国滞在歴が通算で30日までの方は献血できるようになりました。